

第8回 いわてユニセフのつどい

～ ユニセフってなあに・一年間のユニセフ活動交流 ～

学校や団体などの取り組みを交流、東北の生協が支援するネパール視察の報告、楽しく学べるユニセフすごろく、ネパールの水がめで水くみ体験、ネパールカレーの試食など楽しくユニセフと世界の子どもたちの応援団になりませんか。

日時：2009年3月21日(土)
10:30～13:00
会場：いわて生協 ベルフ仙北 2F 会議室
参加費 … 100円 ※保育室もあります

- ネパール支援の最新報告
いわて生協常務理事 福士 久美子さん
- ワーク・ショップ「ユニセフすごろく」
- ユニセフ活動交流
- ネパールの文化にふれよう
チャイ・おいしいネパールカレーが食べれま～す!!!



▲ユニセフが支援しているラジオ放送を聞いている人達との交流
いわて生協常務理事福士久美子さん

ユニセフ
写真展

ベルフ仙北 同時開催
◆3月15日(日)～3月21日(土)

～危機にさらされる子どもたち～
アグネス・チャンが見たイラク・モルドバ視察～

おしらせ

いわて生協 店舗・地域で
ユニセフカレンダー募金開催中



▲ベルフ仙北の様子

花巻友の会 総会
開催のお知らせ

日時:4月12日(日)11:00～
会場:グランシェール

- ・会員のみなさま、都合つけて出席しましょう!
- ・2009年度、3回シリーズでユニセフ講座を予定しています。

あなたもユニセフサポーターに 会員になってご支援ください

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部では会員を募集しています。

Q 会員ってなあに?

A ユニセフ協力を広げるさまざまな活動を行う日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にしてください。

Q 会員の種類と会費、会員期間は?

- A 3種類の会員があります。
- ①一般会員…個人ならどなたでも申し込みができます。1口5,000円です。
 - ②学生会員…18歳以上の学生が対象です。1口2,000円です。
 - ③団体会員…団体、法人、企業などが対象です。1口100,000円です。
- 団体会員のみ、毎年4月～翌年3月(事業年度)が会員期間です。
※18歳未満の方は「ユニセフ子どもネット」にご参加下さい。お問合せ、申し込みは岩手県支部まで。

ユニセフカード&ギフト 代金の半分はユニセフ募金



ユニセフのカードとギフトで
世界の子どもたちに未来を

ユニセフのカードやギフトはすべて、定価の約50%が現地活動資金として世界の子どもの命と健康、権利を守る活動に役立てられています。
お祝いに、また、日頃お世話になっている方へのご挨拶に、ぜひこのカタログからユニセフのカードとギフトをお選びください。

県支部にもありますので
お気軽にお立ち寄りください。

あ と が き

今年度も、まもなく終わろうとしています。岩手県支部は設立7年を経過し、ユニセフ募金も年々増加しています。募金活動や出前講座で多くの子どもたちに出会い、いろいろな団体・企業の方々、運営を支えてくださった多くのユニセフ会員、ボランティアさんに心から感謝いたします。

おそまきながら、岩手県支部のホームページを開設しました。今後、一層県内にユニセフ活動が広がっていくことを願っております。(藤原)

き り と り

ユニセフ活動 参加申込書

事務局使用欄 ▶

受付日

参加希望に☑をつけて下さい	(フリガナ)	団体・学校名
☐ いわてユニセフのつどい	お名前	
☐ ユニセフ会員申込書	住所 〒□□□-□□□□	電話番号 ()
☐ ユニセフボランティア申し込み		FAX番号 ()
☐ ユニセフカード&ギフト		

お申し込みは

(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部

TEL 019-687-4460
FAX 019-687-4491

〒020-0180
岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3
(いわて生協本部2階)

岩手県支部ニュース No.20

unicef



財団法人 日本ユニセフ協会

2009年3月

【発行】

(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部

〒020-0180
岩手郡滝沢村土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail: webmaster@unicef-iwate.jp
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

ユニセフ緊急支援活動を本格化 日本ユニセフ協会、人道支援緊急募金受中



郵便局から…
◆郵便振替：00190-5-31000(手数料免除)
◆加入者名：財団法人 日本ユニセフ協会
※通信欄に「ガザ K1-030 岩手県支部」とご明記ください。

ガザ写真展のお知らせ

「ガザ危機～空爆下にガザ入りした一人の日本人医師が見たもの～」
NPO法人「地球のステージ」

この写真展は、2009年1月18日朝までの23日間続いた、ガザ危機の内部の様子を写した貴重な写真です。「戦争の愚か(おろか)さ」と「普通に暮らすことの大切さ」を表しています。春休み、親子では是非ご覧ください。

日時:3月25日～3月31日 日時:4月1日～4月10日
10:00～17:00 10:00～17:00
会場:花巻市 妙円寺 会場:いわて生協ベルフ仙北

昨年、盛岡・花巻で公演した「地球のステージ」桑山紀彦医師は、以前からパレスチナ支援事業をしており、2009年1月15日(木)、イスラエルからの攻撃が続くガザ地区ラファ市に入城し、市立病院の緊急医療救援活動を開始しました。帰国後、その活動状況がテレビでも放映されました。

支援の様子がブログで
ご覧いただけます。 <http://www.e-stageone.org>

ガザ緊急 人道支援

2008年12月27日からイスラエル軍はガザ地区を攻撃・侵攻し、子どもたちを含む民間の人々の命や生活がおびやかされています。

パレスチナ自治政府保健省によると、パレスチナ側の死者は1314人(1月19日時点)を数え、その内子どもは412人、女性は110人になります。

また、負傷者は5450人(内、子ども1855人、女性795人)に上ります。ガザの75%の地域で、電気や水など、各種ライフラインは止まり、保健システムは崩壊寸前の状態です。



▲武力紛争で教室は破壊され、窓ガラスは割られた学校



日本ユニセフ協会岩手県支部 ホームページ開設しました。

このホームページを通じて、(財)日本ユニセフ協会(本部:東京都港区)の取り組みをはじめ、県支部の紹介や案内、ユニセフ募金活動の意義や取り組み、県支部の組織や運営などをお知らせし、県内にユニセフ活動の理解と支援をより一層広げていきます。

<http://www.unicef-iwate.jp>



活動報告

2008ワンワールドフェスタin いわて

5感で、世界とつながる。 ハンド・イン・ハンド募金のスタート!!

■日 時: 2008年11月16日(日)

■会 場: 盛岡市 アイーナ

岩手県国際交流協会主催の2008ワンワールドフェスタin いわては、11月16日盛岡市アイーナで開催され、日本ユニセフ協会岩手県支部は実行委員会に参加し、ユニセフチャリティコンサート、ユニセフカード&グッズの頒布など延べ1000人の参加者と交流を深めました。



◀いのちの水を学んだ感想を述べる上田小学校ボランティア委員長

チャリティコンサートは、県立盛岡第二高校音楽部、滝沢英語サロン、ニンファと渋民中学生のコラボレーション演奏、ハンド・イン・ハンド募金を持って参加した盛岡市立上田小学校ボランティア委員会、岩手大学少林寺拳法部の募金贈呈があり、多くのユニセフ募金が寄せられました。

岩手県立大学社会福祉学部で「ユニセフの活動」を学習

■2009年1月26日実施 ■岩手県立大学社会福祉学部

昨年10月からスタートした授業では、東南アジア、韓国、中国、西アジアなどの現状課題、取り組みなどを比較検討して、多面的総合的に学習、社会福祉問題に対して学生が物事を分析的に理解できるように授業が行われており、担当する張 京萍准教授は、中国北京出身でアジアの福祉事情と社会福祉国際比較論が専門です。



日本ユニセフ協会岩手県支部第2回理事会開催される

2月25日、日本ユニセフ協会岩手県支部第2回理事会が、プラザおでってで開催され、理事17名出席のもと、2008年度の事業報告と2009年度の事業計画・予算を決定しました。

2008年度は、花巻友の会20周年記念のつどいの開催などでユニセフ会員が花巻を中心に増えました。学校や地域のユニセフ出前講座の開催、ワンワールドフェスタなど他団体との協力もすすみ、ユニセフ募金は1月末で1,032万5,372円、うちミャンマー・サイクロン、中国大地震などの緊急募金は384万2,481円でした。

2009年度の事業計画では、ユニセフ会員の拡大ユニセフ募金活動、ユニセフ写真展、「地球のステージ」ありがとうの物語の県内上映など、県内のユニセフ活動の広がりをめざし、事業が決定しました。

特別報告として、いわて生協常務理事福士久美子さんがユニセフネパールスタディーツアーの報告を行いました。



※ネパールは東北の生協が指定募金先として支援しています。



ユニセフ出前講座報告

ふじなでしこ、城内小学校、笹渡小学校

■滝沢村ふじなでしこ学童保育

2009年1月9日



▶水がめの説明を聞く子どもたち
ユニセフの地球の子どもたちのビデオ

■軽米町立笹渡小学校
2月26日

5年～6年の社会科「ユニセフの授業」で、県支部・県学校生協がユニセフの活動について、ビデオや経口補水塩・水がめ・蚊帳(かや)などを使って説明しました。

▲これは何に使われるのでしょうか、佐藤教頭先生

2008ユニセフハンド・イン・ハンド募金活動 報告

県内28会場で
募金総額 869,109円

ボランティア参加
756名
(小中高校大学生571名)

○12月14日・盛岡・花巻で募金活動
ボランティア257名



年末恒例のユニセフ「ハンド・イン・ハンド募金」は、2008年12月14日(花巻12月7日)に、いわて生協・岩手県学校生協・花巻友の会・ユニセフ岩手県支部とボランティアが、県内6会場で実施しました。中学生・高校生・大学生などのボランティアは217名と多く、各会場とも大きな声でハンド・イン・ハンド募金を呼びかけました。



▲イオン盛岡南ショッピングセンター
盛岡大学・見前南中・盛岡女子高・盛岡市立高のみなさん



▲イオン盛岡ショッピングセンター
滝沢英語サロンの小学生のみなさん



▲青町 Hotline 盛岡市立河南中の生徒といわて生協のユニセフ委員さん

■盛岡市立城内小学校
2009年2月4日



▲ユニセフすごろくで楽しく学ぶ子どもたち

▲5歳未満で亡くなる子どもを世界地図にぬってみよう。

「総合的な学習・国際理解教育」で、3年生～6年生18人がユニセフ活動や世界の子供たちについて学びました。

●地図の色ぬりが楽しかったよ。ぼくの知らない国では、たくさんの子供たちが死んでいるなんてびっくりしました。(3年)

●藤原さん、井上さん、鈴木さんユニセフについていろいろ教えてくださいありがとうございました。ユニセフは、世界の国々へ支援物資を送るだけでなく、井戸を作ったり、寺子屋の先生を育てたりユニセフが活動することにもおどろきました。世界の国々の状況を知った僕は、これから募金にもっと協力したいし、このことを心にとめてこれからを過ごして行きたいです。(6年)

今年のキャンペーンテーマ「守りたい。子どもの命、アフリカの未来」いま世界で5歳の誕生日を迎えること亡くなる子どもは年間920万人。その半数はサハラ以南のアフリカの子供たちです。HIVに感染している子供の90%、マラリヤで亡くなる子供の80%もこの地域に集中しています。

参加してくれたボランティアの声

はじめは募金してくれるかととても不安でした。でもやってみてたくさんの人が協力してくれてとてもうれしかったです。お金の大切さを学ぶことができ、募金活動に協力できてよかったです(中学生)

受講者たちのレポートから

- ・日本では、赤ちゃんが生まれたら出生届を出すことも自然なことであるし、元気に育つことが出来るけれど、生まれても死んでしまったり、出生の登録がされずストリートチルドレンになったり、売られてしまったりする国があるということを知り、とても悲しいことだと思いました。
- ・母子手帳を作って子どもの成長を記録していったり、トイレを設置したり、先生の教育をしたりして、子どもの権利を守ることはとても大切なことだと思いました。
- ・生きる権利は小さい子どもに対しても、大人と同じように保障していかなければならないと思いました。
- ・文字が読めないや薬を飲み違えたり、地雷が埋まっている危ない区域に入ってしまったらするので、読み書きの教育もとても大切だと感じました。
- ・募金活動してもらうために、現地の状況を多くの人に知ってもらう広報活動も重要な活動だと思いました。

2008年度ユニセフ募金 10,325,372円 2009.1.31 現在

2008年10月～2009年1月 募金協力者(敬称略・順不同)

【学校】

●盛岡市立松園中学校
●盛岡市立城内小学校
●盛岡市立飯岡小学校
●滝沢村立滝沢第二小学校
●紫波町立星山小学校
●花巻市立矢沢小学校
●花巻市立桜台小学校
●奥州市立東水沢中学校
●杜陵高校(通)生徒会
●盛岡市立上田小学校
●洋野町立大野小学校

【個人】

●栗石 正男
●金子 晃
●渡邊 勉
●秋山 信勝
●佐藤 悦郎
●平山 健一
●中軽米 伸
●常盤 知曉
●渡辺 徳司
●勝 恭子
●佐々木麻里子

●中台 照幸
●清水 実
●勝又 弘子
●矢部 ツエ子
●守谷 祐志
●岩淵 宗
●佐々木 究
●小田島 二郎
●中村 紀子
●村田 源一郎

【団体他】

●一関市三反田二民区 区長 菊地 泉
●ゆかわ脳外科スポーツクラブ
●二戸市福岡十区婦人会
●盛岡レオクラブ
●盛岡大学生生活協同組合学生委員会
●岩手大学少林寺拳法部
●盛岡医療生活協同組合
●いわて生活協同組合
●岩手県学校生活協同組合
●ワンワールドフェスタいわて
●けやきの會事務所 五十嵐彰

●サト一品質保証部
●オープンガーデン岩手
●日本ユニセフ協会岩手県支部花巻友の会
●日本ユニセフ協会岩手県支部

村田源一郎岩手日報社会長
(日本ユニセフ協会岩手県支部会長)
旭日中級受章を祝う会が去る1月30日開催され、席上村田源一郎会長からユニセフに寄付がありました。

岩手県支部にお寄せいただいた募金です。払込用紙の通信欄に岩手県支部コードK1-030と記入されたもので送金いただいた方々です。



▲盛岡レオクラブ



▲ワンワールドフェスタinいわて



紫波町立星山小学校▶

募 金 贈 呈